

# 訪れる人の誰もが思いを残す 伝統と文化が息づくまち

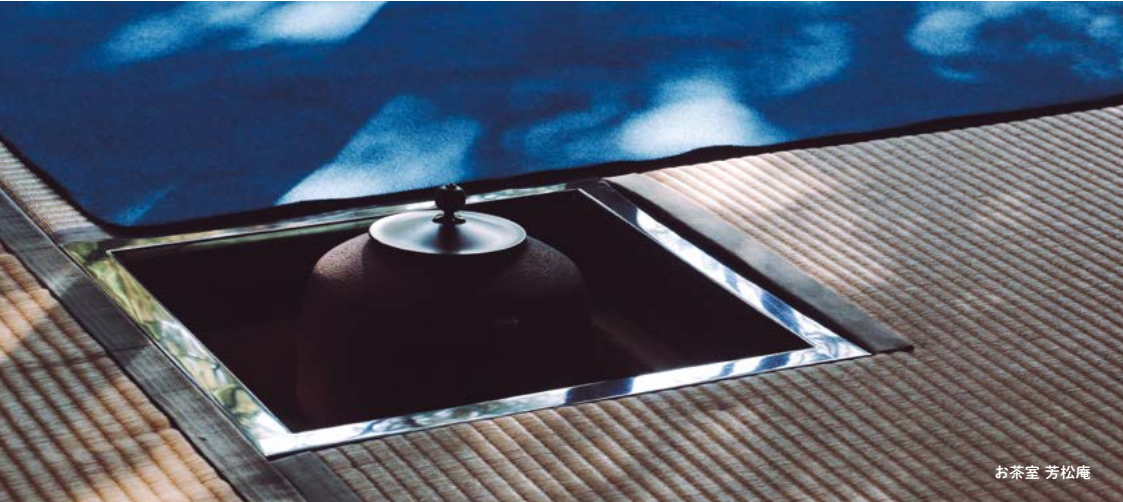
山口県のほぼ中央に位置する防府市。古来より海上交通の要所として人とモノ、そして物語が積み重なってきました。

例えば、「天神さま」。学問の神様として祀られている菅原道真公は、太宰府への道行きの途中、当地に寄港し「できればここに居を置きたい」と思いを残して旅立たれました。そこで防府の民は、道真公の訃報をきくと社を建ててお祀りし、ここが日本で最初の天満宮となったのです。

幕末には、勤王の志士たちが萩往還を経て、富海港や小田港から出帆しました。

彼らも天神様に厚い信仰を寄せていたといわれています。

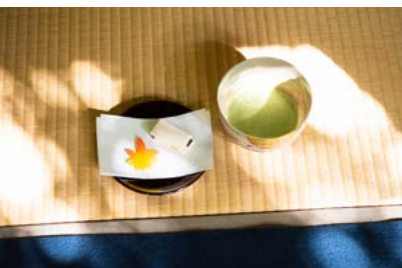
知る人ぞ知る物語が、防府にはまだまだたくさん眠っています。この地で守ってきた伝統食や、お菓子、工芸品とともに、少しずつみなさんにお伝えしたいと思います。



お茶室 芳松庵

## お茶室 芳松庵

「天神さま」として親しまれている菅原道真公は、「茶聖菅公」と称せられるほど、お茶に詳しく、喫茶の習慣を広めた方。今も防府に残る茶の湯、和菓子の文化のルーツでもあります。茶室芳松庵は、菅公とお茶の深い関わりを後世に伝えるため、平成三年に建立されました。緑豊かな庭園は、秋は紅葉の名所です。拝観料 500円(お抹茶・お菓子付き)



## ほうふ外郎本舗 「ほうふういろいろ花めぐり」

西の京とも言われる山口県の「外郎」は、わらび粉に、小豆餡、小麦粉、砂糖などを練り合わせ、蒸しあげることによって、独特のなめらかさと風味を持つています。防府では、伝統の製法と職人の技と知恵とで、オリジナルの「ほうふ外郎」が生まれました。四季折々の花のように茶の席を彩る、多種多様な味わい。包装紙には、それぞれの花の名所を描いています。



### ほうふういろいろ花めぐり

左から「梅 / 防府天満宮(小豆)」「桜 / 毛利氏庭園(桜花)」「紫陽花 / 阿弥陀寺(粒小豆)」「百日紅 / 周防国分寺(抹茶)」「紅葉 / 毛利氏庭園(珈琲)」。花とともに防府の観光名所を紹介する限定パッケージは各 600円(税込)。木箱セット 3,500円(税込)。おひとつずつでもお買い求めいただけます。



梅(小豆) 桜(桜花) 紫陽花(粒小豆) 百日紅(抹茶) 紅葉(珈琲)



梅が満開の防府天満宮